

the Lion



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



- ▶ 地区ガバナー年次報告
- ▶ 第66回地区年次大会決議委員会報告
- ▶ 地区ガバナー大賞・ガバナー特別賞・MC賞紹介
- ▶ 事務局だより

GOVERNOR REPORT

地区ガバナ一年次報告

ライオンズクラブ国際協会334-C地区2019～2020年度地区ガバナーとして年次報告を申し上げます。

報告に先立ちまして、新型コロナウイルスが世界への蔓延により、地区での各々の委員会・第4回キャビネット会議は書面審議となり、また、334複合での会議もWEB会議や書面審議となりました。334-C地区年次大会及び334複合年次大会の式典は中止となり、代議員投票については各々郵送等により投票となりました。さらに6月末に予定されていた第103回シンガポール国際大会も新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えるため中止となりました。科学の進歩した現在においても経験したことがない事態となり、今後収束及び終息の予測がつかない現況です。しかしながら、今年度のご報告を大会記念誌として書面にてご報告致します。

まずは、今年度活躍してくださいました地区役員各位、クラブ会長各位をはじめとする地区内メンバー各位におかれましては、ライオンズクラブ国際会長スローガン及び地区ガバナー基本方針の具現化を素晴らしい成果としていただきましたこと深く感謝申し上げます。皆様の人道支援に対するライオンズ精神と足跡が334-C地区の未来に架け橋となったことを実感しております。

私は昨年7月7日、イタリア・ミラノで開催された第102回国際大会に於いて地区ガバナーに就任致しました。以来今日まで、ジュンヨル・チョイ国際会長が掲げたテーマ“*We Serve*”「多様性でウィ・サーブ」のもと、地区アクティビティスローガンを「愛と光の身近な奉仕ライオンズスピリットで未来を築こう」としました。大事なことは、困っている人たちの立場に立って自らの心を置

ライオンズクラブ国際協会334-C地区
地区ガバナー

大石 清美

くことが“*We Serve*”の原点であり、国際会長が言われるように「何かお役に立てることはありませんか？」と身近なところに光を当てて、ライオンズスピリットで奉仕を創出する方針と致しました。

GAT活動の推進につきましては、ライオンズクラブ国際協会(LCI)フォーワード4つの主要分野①GST活動(よき奉仕を行う)②奉仕やライオンズクラブをPRする③GLT活動(クラブ運営や会員資質の向上)④GMT・FWT活動(新規会員の獲得)、この4つの歯車を回転させ、活性化していくのがGAT活動となります。

①GST活動の推進につきましては、世界糖尿病DAYに合わせた啓蒙活動。昨年に引き続き334-C地区77クラブ統一奉仕の日の「フードバンクふじのくに」への約5トンの食糧支援を行いました。視力に関する活動、また小児がんの子供へのヘアードネーション事業は、10クラブの成果です。これはFWT委員会が中心となり334-C地区初めての取り組みで、GST委員会が補佐する活動となりました。今年度GST及びFWTに各リジョンからの委員を選出し委員会設置により活動の輪が広がり、本年度のガバナー方針でもあり、14人のZC及び各クラブ会長各位並びに会員各位の活動成果でもあります。環境に関しては、災害に備えるための避難訓練や防災学習などの防災教育に力を入れている静岡市立中島小学校へのライフジャケットの寄贈が新たな奉仕事業として特筆すべき活動です。

②奉仕やライオンズクラブのPR推進につきましては、①の新たに創出された奉仕活動事業と各クラブでの奉仕活



第102回ミラノ国際大会「パレード」にて



ヘアードネーション事業（浜松リパティLC）

動を報道機関によりPR活動をすることでライオンズクラブの認知度を上げる効果がありました。

- ③GLT活動につきましては、若手リーダーの育成のための研修会、クラブ活性化計画としてCQI研修、クラブ活性化セミナーとして「ガイディングライオン」（講師：濱野雅司）を実施致しました。
- ④GMT・FWT活動の推進につきまして、国際会長は、「ダイバシティ＝多様性」クラブ運営をすることも推奨されています。「スペシャルティクラブ&クラブ支部」のセミナー（講師：吉原稔貴）を開催しました。2つのクラブが支部を結成し、会員の増加と新たな奉仕活動を創出しガバナー方針を具現化しました。「会員の増員のうち2名を女性会員とし各クラブ1名の純増」の77名の目標に対し73名の増加となりました。FWT委員会を中心とした小児がんの子供たちへのヘアードネーション活動は女性ならではの活動でしたが、後方支援あってより大きな成果を上げることができました。男女共同参画基本法が閣議で決定された、平成12年12月12日（2000年）から20年目に当たります。さらなるクラ



ヘアードネーション協力者へ感謝状

ブ活性化のためにも女性の参画の時間が満を持してきたと思われま。

LCIF活動の推進につきましては、各クラブ全員「LCIFキャンペーン100」の方針に対し、18クラブが達成し、また当地区寄付目標額35万ドルに対し125%の達成（2月末時点）を致しました。

LCIF献金は、ライオンズのGAT活動を支える車の両輪となります。これは、ZCを中心としたメンバーの熱意ある活動の賜物と感謝申し上げます。

結びに、地区名誉顧問をはじめとする地区役員の皆様、各クラブ会長をはじめとするメンバー各位の熱意ある活動、ご支援とご協力に支えていただき、地区ガバナーとしての大任を果たすことができました。幾重にも心より感謝申し上げます。

今年度334-C地区第66回年次大会を開催できず、誠に残念であります。334-C地区の今後益々の発展隆盛を衷心より祈念申し上げて、今年度地区ガバナーの年次報告と致します。

2019～2020年度 地区活動総括報告

2019年7月1日～2020年2月29日

1. アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
819件	25,795.4時	1,214件	105,307,021円

2. 会員異動状況

2019年7月初 会員数	入会者数	退会者数	増 減	2020年2月末 会員数	平均出席率
3,178人	187人	114人	+73人	3,251人	80%

3. YCE交換実績

区 分	受 入	派 遣	合 計
夏 季	4人	4人	8人
冬 季	3人	0人	3人
合 計	7人	4人	11人

6. その他特記すべき事項

- 2クラブのクラブ支部結成
 - ・2020年2月 5日 静岡葵LC・静岡葵ライオネス支部を8名のメンバーにより結成。
 - ・2020年2月28日 三島LC・三島LCアラート支部を6名のメンバーにより結成。
- 今年度初の取り組み「ヘアードネーション事業」実施クラブ
20名＝磐田LC 10名＝浜松リパティLC 3名＝御前崎LC／下田LC 1名＝大須賀LC／清水日本平LC／焼津LC／榛南LC
- 「LCIFキャンペーン100」全員寄付クラブ
浜松ホストLC／浜松リパティLC／浜松ひかりLC／森町LC／御前崎LC／静岡葵LC／島田LC／焼津LC／榛南LC／沼津千本LC
沼津香陵LC／沼津中央LC／富士吉原LC／富士岳南LC／富士宮LC／富士宮中央LC／富士宮芙蓉LC／三島LC

4. 献眼・献腎・献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
47人	1人	612人	200ml	400ml	成 分
			207人	4,807人	657人

5. LCIF寄付実績

クラブ寄付金額	MJF寄付金額	LCIF寄付金総額
4,042,451円	43,893,830円	47,936,281円

第66回地区年次大会決議委員会開催

新型コロナウイルス感染拡大防止策が実施される中、中止となった第66回地区年次大会に代わるものとして、4月23日(木) 静岡市に於いて第66回地区年次大会資格証明・議事運営委員会と指名選挙委員会が開催されました。委員会の後、クラブ代議員の文書による投票用紙の開票を実施、決議委員会により開票結果の確認と決議がなされ、久保田紀之地区ガバナーエレクト、藤井嗣也次期第一副地区ガバナー、太田厚利次期第二副地区ガバナーが選出されました。開票結果については翌24日付各クラブ宛に送付されました。



委員会開催風景



決議委員会開催風景

れ、久保田紀之地区ガバナーエレクト、藤井嗣也次期第一副地区ガバナー、太田厚利次期第二副地区ガバナーが選出されました。開票結果については翌24日付各クラブ宛に送付されました。



決議委員長代行は橋本勝策前地区ガバナー



次期ガバナー等選出(左からL.藤井嗣也、L.久保田紀之、L.太田厚利)

第66回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表 (クラブ名順不同)

- 地区ガバナー大賞(1クラブ) … 静岡葵LC
- 地区ガバナー特別賞(4クラブ) … 浜松ホストLC/榛南LC/沼津LC/三島LC
- 会員維持賞(7クラブ) … 浜松グリーンLC/清水日本平LC/静岡リパティLC/沼津駿河LC/富士中央LC/西伊豆LC/土肥LC
- 会員増強賞(23クラブ) … 浜松ホストLC/浜松東LC/浜松南LC/浜松リパティLC/浜松グリーンLC/浜松さくらLC/湖西LC
静岡葵LC/静岡芙蓉LC/清水日本平LC/焼津LC/榛南LC/静岡リパティLC/沼津香陵LC/沼津駿河LC/富士吉原LC
富士中央LC/裾野LC/下田LC/西伊豆LC/河津LC/三島LC/大仁LC
- グッドスタンディング賞(5クラブ) … 焼津LC/浜松ホストLC/静岡橘LC/沼津香陵LC/浜松南LC
- MC賞(5クラブ) … 浜松南LC/蒲原LC/静岡翼LC/御殿場LC/熱海LC
- 青少年健全育成賞(8クラブ) … 浜松ホストLC/御前崎LC/榛南LC/静岡駿府LC/富士岳南LC/富士宮LC/伊東LC/修善寺LC
- YCE賞(7クラブ) … 浜松リパティLC/島田LC/焼津LC/富士吉原LC/長泉LC/熱海LC/天城湯ヶ島LC
- 献眼・献腎・献血運動推進賞(8クラブ) … 浜松東LC/静岡葵LC/静岡リパティLC/静岡LC/小山LC/御殿場LC/沼津LC/裾野LC
- 環境保全推進賞(5クラブ) … 静岡LC/静岡橘LC/静岡翼LC/沼津LC/大仁LC
- LCIF・MJF賞(10クラブ) … 浜松ホストLC/静岡葵LC/藤枝LC/焼津LC/榛南LC/静岡弥生LC/沼津香陵LC/沼津中央LC
富士宮LC/富士宮中央LC
- LCIF・クラブ寄付賞(5クラブ) … 榛南LC/浜松ホストLC/富士吉原LC/森町LC/焼津LC
- 愛と光の奉仕賞(50クラブ) … 浜松葵LC(2)/浜松東LC/浜松リパティLC(4)/浜松ひかりLC(3)/浜松さくらLC/磐田LC
森町LC(2)/豊田LC/浜北LC/菊川LC/御前崎LC(3)/大須賀LC(2)/静岡LC(3)/静岡橘LC/静岡青葉LC
静岡芙蓉LC/清水LC/清水羽衣LC(2)/蒲原LC(2)/清水みなとLC/清水日本平LC/藤枝LC(2)/島田LC(3)
焼津LC(4)/川根LC(2)/静岡駿府LC(2)/静岡けやきLC/静岡弥生LC(2)/静岡翼LC/沼津千本LC(2)
沼津香陵LC(2)/沼津中央LC(2)/沼津駿河LC(2)/富士吉原LC(2)/富士岳南LC(2)/富士マウントLC
御殿場LC(2)/裾野LC/小山LC/清水町LC/長泉LC/富士宮LC(2)/富士宮中央LC(3)/富士宮芙蓉LC(2)/伊東LC
下田LC(3)/修善寺LC/大仁LC(3)/三島泉LC(2)/菰山LC
- ※上記()内数字は今年度地区ガバナーの意向による、基本方針達成項目のアワード交付数。
- クラブ会報・ホームページコンテスト(3クラブ) … 会報の部: 焼津LC/富士宮LC ホームページの部: 天城湯ヶ島LC

※以上、14賞・141クラブ

GOVERNORS AWARD

ガバナー大賞紹介

支部結成で仲間を増やし
“We Serve”

2R・1Z 静岡葵LC

今年度の我クラブのスローガンは「楽しい奉仕で仲間を増やし未来に繋げる葵の絆」としました。これは社会奉仕団体であるライオンズクラブの原点“We Serve”の精神のもと“真心と愛情を込めた身近な”奉仕活動に楽しく参加をし、仲間を増やしながら絆を深めていこうというものです。

我クラブの特徴の一つではありますが、永年、我クラブの会員の奥様達が「ライオネスクラブ」を結成し、我々と共に奉仕活動を行ってきております。特に、愛の献血運動・こども食堂「キッズカフェ」ではきめ細やかな、心温まる対応には大変感謝をしているところでございます。しかし、この組織も高齢化が進み、新会員の入会もなくこのままでは存続が危ぶまれており、そこで、新しい会員が増えていく環境作りをしたいと考え、その組織を今年度末に解散することとし、新しく「静岡葵ライオネス支部」を結成しました。結果、“会員増強と女性会員の増員”を果たすことができたことは本会全体の士気向上にもつながり、本会と支部とが交流を図ることによってライオンズライフを楽しみ、より一層、クラブ活性化につながっていくものと思っております。GAT活動の推進については未来に向けて“リーダー”となりうる若手を中心にサークルを作り、互いの情

報交換をする場を作る方向で行動をしてきており、徐々に実りつつあります。また、LCIF活動については“キャンペーン100”の意義を例会に於いて丁寧に説明し、理解をいただき、全会員で達成できたことは大変意義深いことでありました。

今年度の下期は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、“第66回地区年次大会”を始め多くのイベントが次から次へと中止、または延期となったことは大変残念なことでありました。日本全国にわたる新型コロナウイルス感染の一日も早い収束を切に願うばかりです。



GOVERNORS AWARD

ガバナー特別賞紹介



地区ガバナー特別賞を受賞して

1R・1Z 浜松ホストLC

地区ガバナー基本方針に則り様々な活動の実現を目指してスタートしたのですが、新型コロナウイルス騒動により、年度後半の活動停止を余儀なくされ思うようにその成果が出せなかった中でのガバナー特別賞受賞ということでも嬉しく思います。

会員増強は、前会長のお力添えもあり商工会やJCのOBを中心に40歳代～50歳代の若手会員が増え、今期は交代会員を除く7名の新会員のうち女性会員が4名を占め、全体でも19名となりました。

キャンペーン100への取り組みでは、114名の会員全員の100\$寄付を達成し貢献することができました。更に、MJF寄付で11名・27,000\$, LCIF寄付で8名・4,200\$を獲得することもできました。

また334-C地区初の女性ガバナーらしい細やかな気配りで“身近な奉仕”を提唱されて、小児ガン治療に取り組む子供達のためウィッグ作りのヘアードネーション事業普及には、当クラブでも会員から提供者の推薦がありさあこれからというところでコロナ禍に巻き込まれ中断してしまっていますが、目途がついた後には引き続き繋がる事業になるものと思います。

フードバンク支援も10月の地区一斉アクティビティの

他、年明けにも2回目を行い、段ボール11箱もの食料品を送りました。

こういった新しい取り組みの他に、当クラブはいくつかの継続事業を行っています。

今年度で60年目を迎えた浜松市内児童生徒読書感想文コンクールの主催や、市内の公園を中心とした植樹・メンテナンス事業、そして5年前から中古ランドセルをフィリピンの小学生に贈る事業を行っています。ランドセルの箱詰め作業は、中古眼鏡の荷造り作業と同時に例会に於いて出席会員全員で行いました。

今後も学生ボランティアグループと連携して奉仕の輪を拡げるとともに、協働した学生達が将来のライオン獲得に繋がるよう活動を続けていきたいと思います。





Let's Enjoy Lions Life

2R・3Z 榛南LC



クラブライオニズム高揚のためのGAT活動、LCIF寄付の推進、クラブの円滑な運営と活発な活動促進など、地区ガバナー基本方針に沿って活動を実施しました。

入会5年目の若手を委員会委員長・副委員長に委嘱し組織を構成しました。慣れない中での委員長・副委員長は、協力してチームをまとめ、担当例会、担当事業を責任もってこなし、クラブの雰囲気づくりに貢献してくれました。若手リーダーの育成ができました。

GMT・GLT委員長を中心に、会員の維持、新会員9名（男性会員4名、女性会員5名）の増員をしました。

小児がん等により頭髪に悩みを抱える子供たちにメディカルウィッグを提供する事業のヘアードネーション、また、青少年健全育成を掲げ8回目を迎えた『榛南LC杯争奪剣道大会』、いのちの大切さ、思いやりの心を育んでもらうため小学生対象に開催の『いのちの話講座』、発達訓練指導教室や、発達障害のある小学生、中学生の放課後デイサービス事業所への『クリスマスサンタクロース訪問』、ゾーンの垣根を超え合同で開催した『御前崎LC・榛南LC杯争奪中学生女子ソフトボール大会』、牧之原警察署安全課と協力して生徒の自転車盗難防止を図ること、生徒の皆さんに物の大切さを通じて防犯意識を高めてもらい、少年犯罪を防

ぐことを目的とし、近隣2市1町の中学生、高校生に『自転車盗難防止用チェーン』の贈呈、以上は、これからの時代を担う子供たちを応援した事業を展開しました。

クラブ献血奉仕活動は3回。同時に献眼、献腎、薬物乱用防止の啓蒙活動も行いました。

また、2R・3Z内5クラブ合同事業として、食糧支援、4回の薬物乱用防止教室、吉田特別支援学校に防犯用品贈呈、他団体との協力事業の献血奉仕、親善チャリティゴルフ大会での合同アクティビティとしてLCIF寄付の実施。2月後半以降から新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していたウォーカーソン、キャンペーン100チャリティボウリング大会は中止を余儀なくされましたが2万円のLCIFクラブ寄付と、クラブ全員\$100寄付を実施しました。使用済みネクタイの再利用活動も行いました。

例会内容を担当の委員会で企画・発案し、楽しい例会を開催しました。ゴルフコンペ、カラオケ大会など、クラブ内メンバー及び、他クラブメンバーとの交流を図りました。メンバーとともに楽しい例会、多くの事業ができました。

創立50年を迎え、原点（“We Serve”）に立ち返り、これからもメンバー丸となって、真心と愛情を込めた奉仕活動に取り組んでいきます。

GOVERNORS AWARD

ガバナー特別賞紹介



アタッチメントについて説明する土至田准教授（順天堂大学）



頼重沼津市長と共に植樹（沼津御用邸記念公園）



CN60周年記念事業

3R・1Z 沼津LC

視力福祉事業

■マイクロケラトームのアタッチメントを公益財団法人静岡県アイバンクに寄贈し、順天堂大学医学部付属静岡病院に設置

献眼・アイバンク運動のさらなる推進のために、角膜摘出を適切迅速に行うための機器としてマイクロケラトームのアタッチメント購入資金を公益財団法人静岡県アイバンクに寄付し、順天堂大学医学部付属静岡病院に設置しました。

■沼津視覚特別支援学校にフロアバレーの器具一式と立体イメージプリンターを贈呈

沼津視覚特別支援学校に対して教育・生活支援に役立てていただくために、フロアバレーのネット・支柱と立体イメージプリンター（イージータクティス）を贈呈しました。

青少年育成事業

■沼津野球連盟学童部の11チームに新規格軟式ボールを贈呈

永年に亘り支援している沼津野球連盟学童部の活動に役立てていただくために、沼津ライオンズ杯の開会式で加盟

11チームに新規格軟式ボール各2ダースを贈呈しました。

環境保全事業

■沼津御用邸記念公園に紅白の梅の木を植樹

新天皇即位を祝して皇室ゆかりの沼津御用邸記念公園に紅白の梅の木10本を植樹しました。

合わせて沼津野球連盟学童部と協働で沼津御用邸記念公園内の清掃を実施しました。

■沼津市最終処分場に芝桜を3年計画で植栽

沼津市植田の沼津市最終処分場の堰堤に3年計画で芝桜を植栽して第1期が完成しました。



沼津市最終処分場に植えられた芝桜



三島ライオンズクラブアラート支部設立

4R・2Z 三島LC

東日本大震災（2011年3月11日）より9年が経ち、昨年では台風による災害に見舞われています。

また、当クラブが所在する静岡地区は東南海地震、相模湾沖地震がここ数年の間に発生するとされております。

記憶が薄れる中で当クラブとしてはあの惨事を最小に抑えるべく消防・防災担当経験者の協力をいただき、支部を設立しました。

支部名称をアラート支部とし、実際の災害時のサポートとするより、防災意識を高めることを目的として次の活動を行なっていくことといたしました。

- ① 地震時及び災害時の対処法と教育
(園児・小中学生・地域住民対象)
- ② 自分の命を守る事の指導と心構え
- ③ 避難場所における予備知識
- ④ 軽微な救護作業
- ⑤ 避難場所の点検及びアドバイス
- ⑥ 地域との連携と情報交換

地域の防災セミナーには、いつも決まったメンバーしか集まらないとの悩みがあり、普段防災に関心のない層、防災知識に触れることの無い子供や地域の方々に、防災について伝えていけるか考えていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの影響により、予定していた防災フェスタの中止など、活動予定の見直しを行なっているところでもあります。

このウイルスと共に生活しなければならない現代において、防災、避難所のあり方自体が見直さなければならなくなっています。

ソーシャルディスタンス(3密を避ける)を確保するため、避難所でのダンボールでの仕切り板の設置、自宅避難可能な備蓄物の確保などがあげられています。

私たちは、消防、防災経験者である支部メンバーの協力、助言等により防災マニュアルの算定や、行政、町内会への必要な設備の寄贈など、できることを着実にを行い、災害に強い地域の実現に寄与していける活動を行っていきたいと考えております。



MC賞紹介



『雑煮』におけるMCの3相

1R・1Z 浜松南LC

この度MC賞を頂きありがとうございます。浜松南LCが何をしたのか、ご説明させていただきます。

- ① 例会を充実させるためにメンバーの趣味や才能を生かすことを考え、毎例会でL. 久保田の連載エッセー『雑煮』を配布。
※例会の充実度が増し、退会防止策に。
- ② これを本にまとめて多くの人に読んでもらおうと、新しいアクティビティに。
→静岡県立浜松特別支援学校美術部さんに本のイラスト依頼。完成本を卒業する全生徒さんに寄贈。
→浜松いわた信用金庫の全店ロビーに寄贈。一般市民からも問い合わせあり。
→上記の活動を静岡新聞が掲載。
※ライオンズの奉仕活動（ハードPR）だけでなく、知的でユニークな人間的メンバーが集まっている魅力的な組織（ソフトPR）と認識して頂ける一助に。
- ③ ①②の活動をライオン誌日本語版に投稿・掲載。またFacebookにて発信。
→全国のライオンズクラブから問合せ・発注があり、大いに刺激を受ける。
※新たな資金獲得だけでなく、全国のクラブと交流・

刺激・切磋琢磨に。

上記が3年にわたる『雑煮』の活動です。

今振り返ってみますと、

- ①はメンバーへのMC
- ②は社会へのMC
- ③は他クラブへのMC

とまとめることができます。MCとはもちろんマーケティングコミュニケーションのことです。一方的な発信ではなく、そこには受け手と送り手との交流が生まれます。今回も進める中で、思いがけない気づきや楽しいことが沢山あり、アクティビティの醍醐味を味わいました。

L. 久保田は第2弾を準備中とのこと。次はどんな出会いや発見があるか、楽しみです。





蒲原ライオンズクラブ主催
盲導犬読書感想文コンクール
盲導犬の姿を調べて感想文を書いてみよう。

【フレアのおがちゃん】
学校犬クレーに9匹の
あちゃんが生まれた。
小学校での勉強事は
もう大騒ぎ。

【ごんびら】
犬いっぴき、花のお江戸から人から人に
運ばれて、遠く四国金満さんへ。
主人の代わりにお参りに行きます。

【盲導犬ワイールの一生】
生まれたときはみんな同じ区別のつかない
かわいらしさ。でもそれぞれ個性がある。
選ばれて盲導犬になるために生き続けるワイール。

【ベルナのしっぽ】
犬種別の個性。思い切って盲導犬の
ユーザーになる決心をした。私もお母さん
になって子供を見てたい。強い思いに背中
を押され盲導犬との生活が始まった。

※小学生から3年生まで年齢制限1枚でいい。4年生から6年生まで年齢制限2枚でいい。
応募者全員に参加賞を、ここにひびく作品には賞状と賞品を差し上げます。

📅 締め切り 令和2年1月31日
〒421-3203 蒲原区蒲原3-6-25 TEL:054-385-2664 FAX:054-385-2666
蒲原ライオンズクラブ 盲導犬読書感想文コンクール係

後援 静岡県教育委員会 富士市教育委員会 静岡県新聞社 静岡県放送 静岡県銀行



ライオンズの人から人へつなげる奉仕活動は 青少年健全育成と社会貢献へ

2R・2Z 蒲原LC

今全国で目の見えない人、見えにくい人で視覚障害の障害者手帳保持者が30万人、盲導犬希望者が推計3,000人、実際に盲導犬と生活者が2019年3月末928人で1,000人にも満たない現実。盲導犬育成施設はかかる費用を皆様からの募金と支援金で成り立っていること、10頭の犬の中から実際盲導犬として活躍できる犬は4頭ほどの事も知りました。

私達も盲導犬のことをもっと知り多くのこども達にも学ぶ機会を作ろうと4年前から地域6つの小学校を対象に「盲導犬ふれあい学習会」を「公益財団法人日本盲導犬協会富士ハーネス」から講師と盲導犬のPR犬、また目の不自由な人と生活を共にしている盲導犬を招き小学校からの要請により学校の授業で盲導犬を知る機会として「学習会」を開いています。

盲導犬の3つのお仕事（段差・曲がり角・障害物を教えてくれる）を知り、目の見えない人、見えにくい人へ自分達は何をしたら手助けになるかを学び、この授業はこども達の優しい心、思いやりの心を培う健全育成へつながっています。

また盲導犬に興味を持ってもらうことで毎年贈呈している本の感想文を募集し、応募者全員に参加賞を、心に響く作品には賞状と賞品を差し上げています。今年度は後援承認を得て「盲導犬読書感想文コンクール」のチラシを全小学生へ配布するという新しい試みをしました。

なお宿場まつり会場において盲導犬参加で「盲導犬育成支援募金活動」をしています。毎年募金額が増えてきているということは人から人へつなげる喜びのある活動と実感しています。



GOVERNORS AWARD

MC賞紹介



魅力発信

3R・3Z 御殿場LC

私たち御殿場LCは（L、外山恵市会長）会員95名で活動をしています。

MC委員会の活動は、各事業の写真撮影・取材、報道機関との連絡調整、ホームページの維持管理を主に行っています。

3Z合同で行われるプレスマン会議にて、報道の皆さんに集まっていただき、クラブの活動を理解してもらい、活動内容をPRしてもらうことで、情報の発信・会員の拡大につなげていきたいと考えています。

当クラブの2大事業

1991年より活動が続けている『百年の計 富士山に緑を返そう』では、静岡県くらし環境局自然保護課・御殿場市・玉穂財産区・自衛隊富士学校・御殿場西中学校・五十雀山歩会に協力依頼をし、10月（ライオンズ奉仕デー）に、富士山御殿場口五合目にてバッコヤナギの苗木約3,000本を採取し御殿場西中学校2年生とメンバーが中心となり、ポットに苗木を植え込みます。年間を通してメンバーの園場にて草取りや消毒を行い苗木を育てます。6月富士山例会にて、富士山五合目に協力団体・中学生・メンバーで植樹を行います。

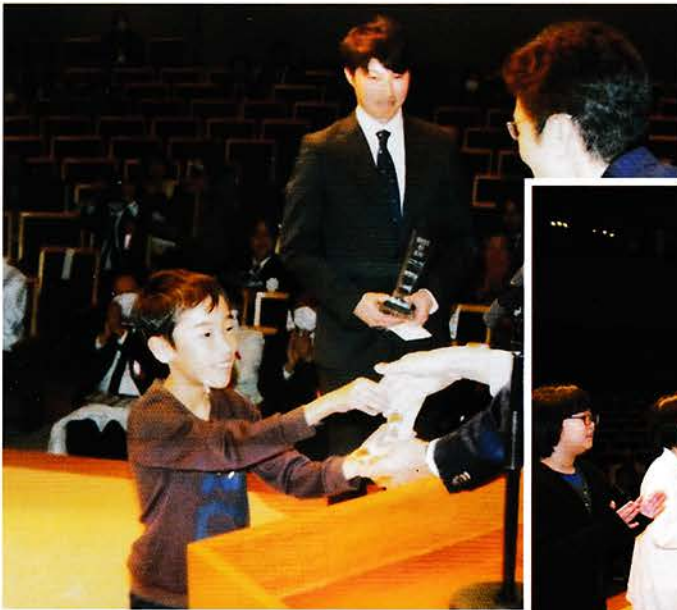
献眼活動においては、1973年7月よりアイバンク推

進委員会を発足以来、今日まで726人の方たちに献眼をしていただきました。新聞記事として、日刊静岡・岳麓新聞に掲載を依頼し御殿場市内広報無線にて全世帯に献眼報告をしています。ご遺族の方たちに10月例会にご出席いただき厚生労働大臣感謝状伝達式を開き、御殿場市長より伝達をしております。

その他、小松LC姉妹提携交流会・横浜梅桜LC雙十節・クリスマス会・献血活動・ゴルフコンペなど、各事業に帯同し取材・撮影を行い、御殿場LCの魅力を発信しています。

来年度は、御殿場LC結成60周年の節目を迎えます。MC活動はより濃厚なものになると思いますが、メンバー一丸となり更に充実させていきたいと考えております。





アタミ・ジュニア・グランプリ表彰式

4R・1Z 熱海LC

発足当時から熱海ライオンズクラブが、運営・資金面共に携わって来ましたが、熱海市青少年健全育成市民会議（野田正巳会長）主催の第19回アタミ・ジュニア・グランプリ（AJC）表彰式が19日（日）桃山町のMOA美術館能楽堂で開催されました。

この表彰は、文化・芸術・学問、奉仕・ボランティア、スポーツ部門で成果を挙げた小中学・高校生を称えるもので、今年度は、28人15団体が表彰状及び記念品を授与されました。

今回、新たに最高賞のベスト・オブAJC賞が創設され、中野匠人君（多賀小3年）と鈴木芽吹君（泉中出身、長野県・佐久長聖高校3年）が授与されました。

同賞は、子供たちが、これからも夢を実現させるための励みにしてほしいと、表彰者の中でも突出した成績を収めた児童・生徒に贈られる賞として創設されました。

中野君は第30回同美術館全国児童作品展絵画の部で文部科学大臣賞を受賞し、鈴木君は第69回全国高校駅伝競走大会で第5区間に出場し区間4位で、チーム5位入賞を成し遂げたことが評価され、2人にはクリスタルトロフィー

が贈られました。

中野君は受賞後「うれしい、これからも絵を頑張っていく」と目を輝かせていました、鈴木君は代理の方が受け取りました。

野田会長は「受賞は日々の努力のたまもの、保護者や先生方の支援が有ってこそこの受賞でもあり、感謝の気持ちを忘れないでほしい」、名誉会長の齊藤米市長は受賞をたたえ「次の目標を立ててさらに成長してほしい」と挨拶しました。

※AJCは熱海ライオンズクラブ・熱海市教育委員会後援、同市PTA協議会協賛で行われております。



MC賞紹介



盲導犬育成支援金贈呈式の取材風景



これからも積極的にPR活動を展開

2R・4Z 静岡翼LC

MC委員長を拝命して1年。この賞を頂けた事は正直びっくりしたとともに、本当に有難く思います。受賞の訳柄を見ると「地域機関誌や各種情報誌を利用した積極的なPR活動を高く評価」との由。具体的には主要な活動を在静5局（TV・ラジオ）、静岡新聞社・静岡リビング新聞社、静岡ビジネスレポート社等マス媒体に取材依頼をかける事からスタート。取材が決まると記者との打ち合わせ、当日の対応等、出来る限り丁寧にわかりやすく説明する事を心掛けてきました。最近では、働き方改革の一環で取材側も若い記者を土・日に派遣する事が難しくなってきたと言われますが、内容が社会性があり、ユニークかつ有意義なモノであれば従来通り積極的に取り上げて頂けるとの事で、一工夫、二工夫の加工が肝要になってきました。

このような状況の中、当委員会では「情報の速度」「情報の鮮度」という2つの事を目標に掲げ、活動を展開してきました。ホームページの月1回更新をはじめ、従来の活動にプラス1の付加価値をつけていこうと頑張ってきましたが、2月下旬からの新型コロナウイルス感染症の影響をモロに受け、3月以降の活動が停滞してしまったことは残念でなりません。

しかしながら、MC賞を受賞という客観的な評価を得た事で、これまで以上に内容の濃い情報をより速く、より広く地域社会に向けて発信できればと切に思いました。加えて、今後も大きな課題となるであろうソーシャルメディアに対しても独自の切り口で参画し新たな共感を拡散する存在になればと考えます。

結びに委員会の皆さん、キャビネットの皆さん、ご協力頂いた全ての皆様に感謝いたします。本当に有難うございました。



年1回発行のクラブ会報誌「波紋」

INFORMATION

事務局だより

2019～2020年度 第4回キャビネット会議報告について

2019～2020年度最終となる第4回キャビネット会議は3月19日（木）静岡市において開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止策の施行により中止され、協議事項は文書による決議となりました。主な事項は次の通りです。

- 報告事項：第66回地区年次大会年次表彰クラブについて
- 協議事項：1. 当地区と静岡県社会福祉協議会との相互連携協定、締結について
2. 次期地区役員・クラブ三役セミナー実施について
3. 第66回地区年次大会議案について

※結果と詳細は、第4回ガバナー諮問委員会にて配布の「重点項目」と、地区ホームページ（会員専用）にてご確認ください。

次期地区役員・クラブ三役セミナーについて

2020年5月27日（水）静岡市・グランシップにて開催を予定していた次期地区役員・クラブ三役セミナーも中止となり、各該当役員に資料が送付されました。

なお、当日「次期ZC研修会」が開催され、当該役員全員が参加しました。次年度地区役員。クラブ役員各位のご活躍を期待申し上げます。

夏季YCEプログラムも全面中止に

新型コロナウイルスの全世界パンデミックの影響により大変残念なことに、今夏季YCEプログラムも全面中止となりました。



2020年1～5月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2019. 9.26	L. 志 水 英 代	島 田 LC
2020. 1. 5	L. 中 野 健一郎	静 岡 巽 LC
2020. 1. 6	L. 山 本 尚 海	袋 井 LC
2020. 1.16	L. 石 井 康 雄	富 士 吉 原 LC
2020. 1.19	L. 栗 本 悦 子	熱 海 LC
2020. 2.14	L. 大 山 辰 夫	富 士 中 央 LC
2020. 2.22	L. 林 益 吉	川 根 LC
2020. 3. 7	L. 新 貝 令 之	豊 田 LC
2020. 3.21	L. 勝 亦 正 人	富士マウント LC
2020. 3.23	L. 岩 山 昌 之	富士マウント LC
2020. 4. 8	L. 佐 藤 仁 士	三 島 LC
2020. 4.11	L. 杉 浦 兼太郎	浜松ホスト LC
2020. 4.12	L. 西 岡 讓	静岡芙蓉 LC
2020. 5.28	L. 土 屋 誠 司	沼 津 LC

編集後記

1年間の地区誌の御愛読、誠にありがとうございました。

振り返りますと、昨年の7月からMC委員会も手探り状態のままスタート。

各委員の皆様と話し合いの中、結局は例年通りの内容と発行回数ということで落ち着きました。年3回（冊子2回・Web版1回）の発行予定が、思いもかけないコロナウイルス禍の多大なる影響をうけながらも、最終発行にこぎつけました。ただ、当初の予定の表紙と裏表紙を「祭り」をテーマにして、1号・2号と順調に続いたと思われたが、3号については、浜松まつりが中止になったために、御提供いただいた昨年の写真を使用することになりました。

また、MC委員会の方々と話し合いが、偶然にもコロナウイルスが問題になる直前にほぼ議論がつくされていたため、各委員の方とはテレワークで終了することができました。そしてMC委員会の皆様との集合写真を掲載する予定でしたが、これもコロナの影響で省略せざるを得なくなったのも残念でなりません。

最後に、一日も早いコロナの終息と各委員の出会いに感謝しつつ編集後記とします。

MC委員長 片瀬 守

